

製品名: コンタクチン 5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09243**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	CNTN5
別名	CNTN5; Contactin-5; Neural recognition molecule NB-2; hNB-2
遺伝子 ID	53942.0
SwissProt ID	O94779
免疫原	抗血清はヒト CNTN5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 891-940

背景

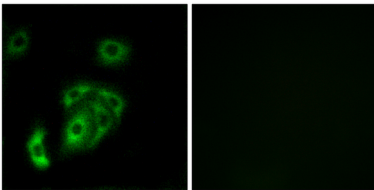
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫グロブリンスーパーファミリーおよびコンタクチンファミリーのメンバーであり、神経系の発達中に細胞表面相互作用を媒介します。このタンパク質は、細胞接着分子として機能するグリコシルホスファチジル

イノシトール (GPI) アンカー型神経膜タンパク質です。発達中の神経系における軸索結合の形成に役割を果たす可能性があります。この遺伝子については、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが記載されています。[RefSeq 提供、2011年8月]、機能: コンタクチンは、神経系の発達中に細胞表面相互作用を媒介します。大脳皮質ニューロンでは神経突起伸展促進活性を示しますが、海馬ニューロンでは示しません。おそらく、聴覚系のニューロン活動に関与しています。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属します。コンタクチンファミリー。類似性: 4つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。類似性: 6つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。組織特異性: 脳と腎臓で発現し、胎盤ではごく低レベルで発現する。他の組織では発現しない。脳では、後頭葉、扁桃体、大脳皮質、前頭葉、視床、側頭葉で高発現する。小脳、黒質、被殻、延髄、海馬では中程度の発現を示す。脊髄と尾状核では弱発現する。脳梁では弱発現または発現しない。、

研究分野

-

画像データ



CNTN5 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。